



上田市議会議員
佐藤のりゆき
佐藤 論 征

後援会報
9月定例会報告

2016年9月定例会号
佐藤のりゆき後援会
発行責任者 森山 和
上田市真田町長 3576-1
TEL 0268-72-5666
FAX 0268-72-2622

平成27年度決算認定 平成28年9月定例会において、平成27年度決算が認定されました

一般会計・特別会計総括 一般会計、特別会計の両会計を合わせた歳入決算額は、前年度に比べ5億300万円減少し、1,082億3,000万円となりました。歳出決算額は前年度に比べ7億1,500万円減少し1,051億3,700万円となりました。歳入歳出差引額は、2億1,200万円増加し、30億9,200万円となりました。歳入歳出差引金額から、翌年度へ繰り越すべき財源(歳出予算のうち、年度内に工事などが終了せず、年度内に支出が終わらず翌年度に繰り越して支出する繰越明許費繰越額など)を差し引いた額である実質収支額は前年度に比べ1億7,800万円増加し、26億6,100万円となりました。

一般会計決算	収入総額 719億6,387万6,387円	支出総額 693億5,553万9,770円	差引額 26億833万6,617円
	黒字決算となり、実質収支額(翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた額)でも21億7,643万円余り黒字		
特別会計決算	収入総額 362億6,665万6,106円	支出総額 357億8,202万3,938円	差引額 4億8,463万2,168円

上田市の借金 上田市の借金(起債)については、合併直前の平成17年度4市町村の合計は771億円であったが、合併以降計画的な借り入れと繰上げ返済(繰上償還)により平成24年度には660億95万円まで減少したが、平成24年度以降、東日本大震災の経験から小中学校施設などの耐震化を実施することとなり、平成26年度まで増加傾向にあった。平成27年度については、小中学校の耐震化等の事業を進める一方、返済額(償還額)より借入額(起債発行額)を抑えたため、上田市の借金の残高(起債残高)は1億1,000万円余り減り、694億3,600万円となった。上田市の借金のうち約4分の3は国からの交付税により返済されるので、上田市の返済額は実際にはこの4分の1程度となります。

【表:起債残高の推移(普通会計)】



上田市の貯金 平成27年度はNHK大河ドラマ「真田丸」放映などに向け、観光振興事業などへ貯金(基金)を充てるために取り崩しを行ったものの、財政調整基金(市が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金)、公共施設整備基金、減債基金(借金の返済に備えた貯金)等の積立を行った結果、貯金残高(基金残高)は2億8,000万円余り増えた。

【表:基金の推移(普通会計)】



財政力指数 基準財政収入額と基本財政需要額の比率の3ヵ年平均。1に近くあるいは1を超えると財政に余裕があります。単年度財政力指数が1を超えると交付税(国からの交付金)不交付団体となります。平成27年度はやや上昇したものの、上田市では横ばいの状況が続いていると言えます。

【表:財政力指数の推移】

将来負担比率 現在抱えている借金(負債)の大きさを、標準財政規模(標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示す指標)に対する割合で示したものです。将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。平成27年度は、前年度と比較し2.1ポイント低下45.2%となり、合併以降毎年改善が図られ健全化が維持されていると言えます。

【表:将来負担比率の推移】



実質公債比率 公債費(市の借金の返済費)や公営企業債(公営企業借入金)に対する繰出金など、実質的な標準財政規模に対する過去3年間の平均値の割合。平成27年度においては、標準財政規模は地方消費税交付金が増えたことにより増加する一方、都市計画税が減少するなか前年度と比較し0.6ポイント低下し4.3%となり改善しています。合併後ここまで改善されたのは、合併特別債の活用が大きな効果をだしています。

【表:実質公債比率の推移】



佐藤のりゆきホームページ <http://www.noriyuki-sato.com>

上田市議会議員 佐藤のりゆき 検索

スマートフォンからもご覧いただけます

上田城跡公園リニューアル

9月定例会
補正予算

小さなお子さんのいらっしゃるお母さん方から、議員就任以来、子どもたちが楽しく、安全に遊べる公園が市内に欲しいとの要望を多くお聞きしてまいりました。まずは、老朽化した上田城跡公園を再生できないか検討してきた結果、本年度での上田城跡公園のリニューアルが決定しました。今回の9月定例会において補正予算を可決しました。

事業費 7,200万円
(内国補助が3,600万円)

改築・更新する施設

コンビネーション遊具(新設)

築山(現在の場所で改築)

パーゴラ(藤棚)(藤の木は残し新設)

動物舎(死角をなくすなど安全に配慮し集約新設)



コンビネーション遊具完成予想図

昨年度に更新済の遊具 複合ブランコ(1基) シーソー(1基) 3間低鉄棒(1基)

工事期間 平成29年1月~3月(予定) 完成 平成29年3月末(予定)

~詳細については、公式ホームページに掲載しております~

太陽光発電事業について

東北地方太平洋沖地震による津波の影響で、福島第一原子力発電所が甚大な被害を受けたことなどにより、現在国において新エネルギーが推進されております。そのなかでも太陽光発電については、電力の買い取り価格が高い金額に設定



真田自治会に設置されている太陽光発電施設
増設が予定されている

され、買い取り期間についても保障されるなか、太陽光発電の事業化が各地で進んでおります。しかしながら弊害として、景観、反射光、反射熱、日照権、排水、災害など様々な問題が各地で発生しております。上田市においても太陽光発電事業の開発に伴い、地元住民との合意形成がなされない案件や、実際に景観上地域になじまない施設が建設されております。私の地元の四阿高原(国立公園内)においても設置の計画が現在なされております。新エネルギーとしての利用については理解できるものの、景観、災害など様々なことに配慮しながら建設されなければならないと考えます。上田市では昨年10月に「上田市太陽光発電設備の設置に関する指導要綱」を告示し、設置に関し指導を行っておりますが、指導に留まっております。今後、より強制力ある条例制定まで必要と考えております。太陽光発電関連を所管する環境建設委員会の委員長でもあることから、早速調査に着手し、委員会としても所管事務調査を実施することといたしました。

政務活動費

富山市議会*などで「政務活動費」の不正取得が問題となっております。これを受け、多くの市民の皆様からご心配の声をいただいております。上田市議会では、「上田市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、以下の通り政務活動費は適正に活用されております。

※ 富山市議会政務活動費は議員1人あたり月額15万円(年額換算180万円)に加え会派人数に応じ別途加算して交付。

政務活動費とは

地方自治法によると「地方公共団体が、条例の定めるところにより、その議会の議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、その議会における会派又は議員に対し、交付することができる金銭的給付」とされております。これを、上田市に置きかえて言えば、『上田市が定める「上田市議会政務活動費の交付に関する条例」により、議員の調査研究その他の活動のため必要な経費の一部を政務活動費として交付している』ということになります。また、用途については、同条例において規定されております。

上田市議会の政務活動費

上田市議会の政務活動費は議員1人あたり年間24万円(月額換算2万円)が、会派に対し支給されます。支出については、会派として支出することとされており、議員個人が自由に支出することはできません。会派は、政務活動費に関する経理責任者を置かなければならないとされており、各会派の経理責任者は政務活動費を領収書と明細書など支出を証する書類により管理を行い、年度末に収支報告書を提出しなければならないこととされております。収支報告については上田市のホームページで公表し、領収書などについては、一般の市民の皆様が閲覧できるようにしております。また、使用しなかった残金については、当然のことながら市に返金されます。

私は、所属会派においてこの経理責任者を担当しており、条例を遵守し管理にあっております。上田市の政務活動費の管理については、上記のように不適切な支出ができないよう細かなルールのもとで管理されており、他の市町村や都道府県、国などと比べて先進的であり、市政に生かすために、高い認識をもって活用させていただいております。

一般質問

AED(自動体外式除細動器)について

AED(自動体外式除細動器)は、寒冷な環境下で作動しない場合があります。過去には、実際に緊急時に気温が低かったことが原因より正常に作動せず、尊い命を救えなかった事例があります。上田市が公共設置に設置するAEDは現在204台あり、そのほとんどの機種が設置場所の温度が10℃~43℃を基準とした機種であり、もっと設置場所の温度が低い場合に対応した機種があるのにも関わらず、設置場所の温度の基準が高い機種を選定しています。このことについて一般質問において問題提起いたしました。



問 AEDは設置する場所の適正温度が機種ごとに設定されており、設置適正温度より低温下で設置され、実際に作動しなかった事例がある。上田市が現在各施設に設置しているAEDは、ほとんどが設置適正温度10~43℃の機種である。施設によっては、明らかに設置適正温度より低温の環境下に設置されているAEDがあり非常に問題である。今後の更新時に設置場所によっては、設置適正温度基準が低温仕様の機種に更新するべきではないか。また、低温の環境下となり得る施設に既に設置されているAEDについて、対策をどう考えているか。

答 指摘の部分については今後の更新の中で検討する。現在設置済みのAEDについては、ケースに入れるなどの措置を講じると共に保守管理をこれまで以上に講じる。

フードバンクの推進について

フードバンクとは、個人が消費し切れなかった食品や十分に安全に食べられるのにパッケージ不良や形状が規格外であるなどの理由で販売できず企業が破棄してしまう食品を寄附してもらい、必要としている人や施設、団体に無償で提供する活動。また、この食品を寄附する活動をフードドライブと呼びます。長野県内においてはNPO法人などが中心となり活動が広がっておりますが、長野市、松本市は市が大きく関わり推進しています。上田市でも推進を提案いたしました。運営主体のNPO法人との関わりを研究しながら、推進を検討していくとの答弁でした。市民の皆様にもこの活動を知っていただくようにも提案し、広報等で知名度アップに努めるとの答弁がありました。上田市では、社会福祉法人上田明照会が主体となり毎月1回第一土曜日10時~14時 miu café 前の駐車場(中央2丁目)にてフードドライブを実施。

佐藤のりゆき 出来事

NHK大河ドラマ真田丸の放映に伴い、真田地域の観光名所はにぎわいをみせております。私の地元真田自治会の皆さんが中心となり、山家神社、長谷寺において、土日祝日に観光客のおもてなしボランティア(真田郷の会)を実施しております。私もメンバーのひとりで、お客様をお迎えしております。1日1000人を超えるお客様がいらっしゃる日もありました。

